

2023 年 1 月 31 日

各 位

双日株式会社

双日、歴史マンガ第 3 巻「躍動」を発行
～第一次世界大戦勃発、鈴木商店、岩井商店、日本綿花の先駆者による大号令～

双日は、このたび、歴史マンガ「総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち」の第 3 巻「躍動」を発行しました。

URL : https://www.sojitz.com/special_site/pioneer/



第 3 巻では、大正 3（1914）年、第一次世界大戦が勃発したことを機に、鈴木商店、岩井商店、日本綿花の先駆者たちがそれぞれの大号令により、日本の産業界を牽引していく姿を描いています。

大戦勃発により、これまで「世界の工場」といわれた英国、そして欧州全体からの世界への物資の供給が細り始め、日本に大量の注文が入り、日本の産業革命が一気に加速することになります。

大正 7（1918）年まで続くこの大戦中、日本は貿易黒字国に転じ、債務国から債権国に転じ、名実ともに先進国の仲間入りを果たしていくことになりますが、双日の源流 3 社が、日本最大級の規模で、貿易・製造業の両面で大きな役割を果たしていきます。

【第 3 巻の主な内容】

鈴木商店は、世界中に優秀な若手社員を派遣し、鈴木商店独自の通信網を構築していた。大戦が勃発すると、日々世界中から届けられる電報を見た金子直吉は、世界情勢と実需を見極め、「BUY ANY STEEL, ANY QUANTITY, AT ANY PRICE」（鉄と名のつくものは何でも金に糸目をつけずいくらでも買いまくれ）と大号令を発する。そして調達した鉄材で船舶を発注し、自ら造船業へ進出を画策するため川崎造船社長の松方幸次郎に相談する。

その後兵庫県相生に播磨造船所（現・IHI）を設立し、真珠王といわれた御木本幸吉の要請を受け、鳥羽造船所（現・シンフォニアテクノロジー）を買収する。建造した船舶は鈴木商店傘下の帝国汽船の船団に組み入れられ世界中を駆け巡ることになる。相生では造船所の拡張に伴い社宅、病院、幼稚園なども設置、鈴木若手による都市開

発も行われた。また、鳥羽造船所では、後に推理作家と名を馳せることになる江戸川乱歩（平井太郎）の姿があった。



一方、金子直吉は、神戸外国人居留地でなぜ魚油が大量に欲しがられるのか不思議がり、東京帝国大卒の新入社員であった久保田四郎に調べさせたところ、西洋では水素を添加して蠟燭、石鹼、グリセリン、オレイン酸などを製造し大儲けをしていることが分かり悔しがる。金子直吉は、久保田に国産化に向けた研究を指示し、多額の資金を投下して、神戸の荻藻島に鈴木商店製油所兵庫工場（現・日油）を建設する。そしてついに日本初の硬化油の量産化に成功することになる。

また、金子直吉は、冒険家の依岡省三と出会い、サラワク（現・マレーシアのサラワク州）でゴムの栽培事業に進出、神戸の敏馬にゴムの製造工場（現・ニチリン）も設立する。



時同じくして岩井商店の岩井勝次郎も、大戦が勃発し、兵庫県網干のセルロイド工場が軍事転用されると、セルロイドの将来性に期待し、岩井商店単独で新たなセルロイド工場を設立することを決意。尼崎の神崎に大阪繊維工業（現・ダイセル神崎工場）を設立した。また大戦による欧州から亜鉛鉄板の輸入が滞ると、山口県の徳山に新たな工場（後・日新製鋼、現・日本製鉄）を設立するなど、輸入品の国産化を推し進める。



世界一周視察を終えた日本綿花の喜多又蔵は、綿糸だけでなく綿布の輸出を拡大するよう指示。喜多は荷役が集中していた神戸港の負担を軽減するため、綿花の大阪への直輸入を開始し、また世界各国の事情を知る若手として、紡績業界で一目を置かれる存在となっていた。大戦勃発により、一時的な市況の暴落、紡績業界の操業短縮にも動じず、逆に欧州からの製品輸出は細り、日本に大量の注文が入ると予想し、見事に的中させ、日本の紡績業界の飛躍のきっかけを掴む。

大戦により豪州からの羊毛輸入が禁止になると、地球の裏側のアルゼンチン、ウルグアイに駐在員の派遣を指示。当時、南米東海岸ではドイツ船が連合国の汽船を脅かしていたことから、日本綿花社員は、チリからアンデス山脈を越えて現地入りし、一早く羊毛の調達に成功した。日本の海外進出の先兵として日本綿花は地球の裏側まで調達網を拡大させていった。そして大戦の長期化を見越し、インドの東、そして西、すなわちビルマ、アフリカに目を向けるよう指示し、社員を鼓舞した。

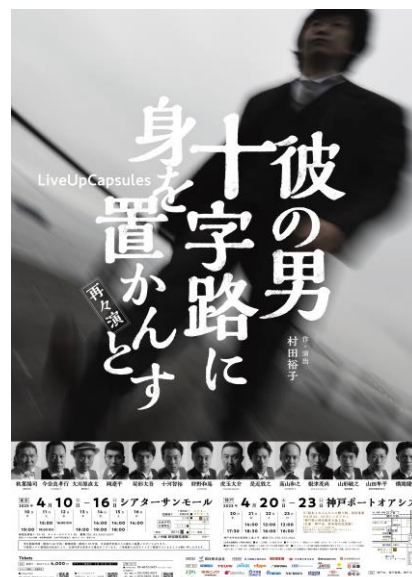


次回の4巻は、双日の源流の3社、そして日本産業の絶頂期を迎えます。そして舞台はロンドンにも移ります。

(お知らせ)

双日が特別支援して開催される鈴木商店を題材とした舞台「彼の男十字路に身を置かんとす」が、4月に東京と神戸にて開催され、2月10日(金)からチケットの販売が開始されます。鈴木商店の躍動していく様子を本マンガだけでなく舞台でも体感することができます。是非ご鑑賞ください。

舞台の詳細については[こちら](#)をご参照ください。



(ご参考)

【関連 TOPICS】

◆2022年6月16日付

「双日、DNAを紐解く物語をマンガで紹介」

『Hassojitz ～総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち～』第1巻「創業」

URL : <https://www.sojitz.com/jp/news/2022/06/topics-20220616.php>

◆2022年8月1日付

「双日、歴史マンガを「こども本の森 神戸」および神戸市各図書館などに寄贈」

URL : <https://www.sojitz.com/jp/news/2022/08/topics-20220801.php>

◆2022 年 10 月 24 日付

「双日、歴史マンガ第 2 巻「黎明」を発行」

～「国がやるべきことを鈴木がやる」、岩井商店の洋服と鉄への憧れ、
そして日本綿花はインド、中国、米国へ～

URL : <https://www.sojitz.com/jp/news/2022/10/topics-20221024.php>

【関連リリース】

◆2022 年 11 月 18 日付

「双日、鈴木商店の舞台に特別支援企業として協賛」

～神戸市と招待事業、シンポジウムなど鈴木商店関連事業に協力～

URL : <https://www.sojitz.com/jp/news/2022/11/20221118.php>

【本件に関する問い合わせ】

双 日 株 式 会 社 広報部 03-6871-3404